

令和5年度第1回ピースツーリズム推進懇談会

HIROSHIMA
PEACE TOURISM

令和5年（2023年）9月8日

目次

1 令和5年度上期の取組	3
2 令和5年度下期の取組（予定）	9
3 その他平和に関わる本市の事業についての情報共有	13
4 意見交換	14

(1) 情報発信の強化

- ① **WEBサイト等による、モデルルート、スポット等の情報発信** (P4)
- ② **G7広島サミットを契機とした新たな取組** (P5)
 - ・ 国際メディアセンターでのパネル展示・ルートマップの配布
 - ・ 本市に集うメディア関係者等を対象に広島ゆかりの映画を上映
 - ・ 市外や海外からの来広者を対象とした被爆建物及び被爆樹木めぐりを開催
- ③ **国内ジャーナリスト研修「ヒロシマ講座」における情報発信** (P6)
- ④ **SNS参加型キャンペーン「あなたのピースなフォトコンテスト」の実施** (P7)

(2) 市民・民間との協働体制の構築

「ピースおこ」プロジェクトとの連携 (P8)

- ・ 平和へのメッセージを配信する取組

(1) 情報発信の強化

① WEBサイト等による、モデルルート、スポット等の情報発信

WEBサイトのアクセス数とインスタグラムのフォロワー数

令和5年4月~令和5年7月

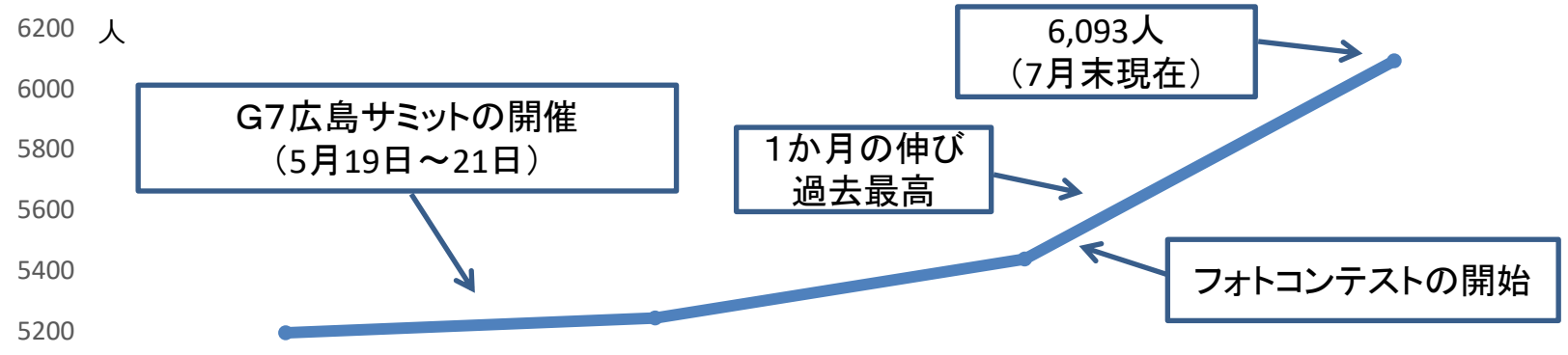
■ WEBサイトの月間アクセス数

○アクセス数:平均12,568件 令和4年同時期平均の6,443件から**約2倍増**

R5年4月	R5年5月	R5年6月	R5年7月	R5年4月~7月平均
11,707件	14,591件	10,293件	13,681件	12,568件

■ インスタグラムのフォロワー数

○フォロワー数:6,093人(令和5年7月末現在) 令和4年7月末の2,685人から**約2倍増**



R 5年4月末



R 5年5月末



R 5年6月末



R 5年7月末

令和5年5月～11月

② G7広島サミットを契機とした新たな取組

■ 国際メディアセンターでのパネル展示・ルートマップの配布

国際メディアセンターの平和に関するブースにおいて、ピースツーリズムの紹介パネルを設置するとともに、国内外のメディア向けにルートマップを配布し、ピースツーリズム専用ホームページへの誘導を図った。

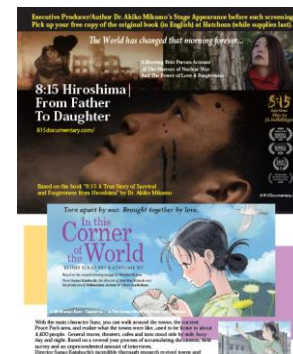
- 令和5年5月のアクセス数：14,591件
(うち5月18日～22日のアクセス数：4,948件)



■ 本市に集うメディア関係者等を対象に広島ゆかりの映画を上映（広島フィルム・コミッション）

5月18日～20日の3日間、中区の八丁座にて、ロケ地やフィルム・コミッションの活動を紹介するパネル展示するとともに、広島ゆかりの映画2作品を上映し、45人が来場した。

- 上映作品：「8時15分 ヒロシマ 父から娘へ」
「この世界の片隅に」



■ 市外や海外からの来広者を対象とした被爆建物及び被爆樹木めぐりを開催（平和推進課）

- 参加者：96人（令和年5年8月末現在：日本語4回、外国語3回）



日本語対応（1回目、2回目）



外国語対応（1回目、2回目）

③ 国内ジャーナリスト研修「ヒロシマ講座」における情報発信

令和5年8月

国内の若手ジャーナリストを対象に核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた世論の醸成を図るために毎年実施している「ヒロシマ講座」において、ピースツーリズムについて講義を行うとともに、「ぴーずくる」を活用して、参加者が実際に施設を巡る体験を実施した。

本川小学校平和資料館では、ボランティアガイドの方に案内していただいたところ、参加者が熱心に話を聞き、質問する姿が見られた。また、参加者からは、「自転車で街を巡る中で、街の小さなところにも被爆の跡が残っていることを学んだ。」との声が寄せられた。

開催日 令和5年8月1日

会場 広島国際会議場（講義）

見学場所 本川小学校平和資料館、相生橋、被爆樹木、中国軍管区司令部跡、大本営跡等

参加者 10名



(本川小学校平和資料館)



(中国軍管区司令部跡)

④ SNS参加型キャンペーン「あなたのピースなフォトコンテスト」の実施

令和5年7月～11月

令和2年度から、できるだけ多くの人に「ピースツーリズム」を知ってもらうきっかけとしてSNSを活用したユーザー投稿型のフォトコンテストを実施している。これまで、開催ごとに、約4,000件の応募があった。これによりWEBサイトへのアクセス数が増加するなど一定の認知度向上を図ることができたため、引き続き、多くの人に「平和」を考えるきっかけを提供するため実施。

- 応募期間： 令和5年7月5日から10月5日までの予定
- 応募テーマ：「#ピーススポット2023」広島広域都市圏内の「平和」に関わるスポットの写真
「#ピースデイズ2023」普段の生活の中で心の「平和」を感じる写真
- 結果発表： 令和5年11月予定



(上：フォトコンテストのサイト)

(左：フォトコンテストのイメージ画像)

(2) 市民・民間との協働体制の構築

「ピースおこ」プロジェクトとの連携

お好み焼きに平和へのメッセージを描き、世界に届ける取組

令和5年8月～11月

開催期間：令和5年8月1日～8月15日

主催：一般財団法人お好み焼アカデミー

- 参加方法：① 参加店舗にて、注文したお好み焼にマヨネーズ等で「ピースおこ」を描き、ハッシュタグ「#peaceoko」を付けてSNSに投稿。
② 参加店舗にて、メッセージカードに平和への思いを描く

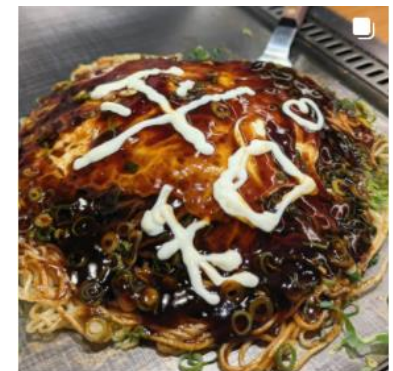


「ピースおこ」の写真とあわせて

11月3日（金）市民平和文化イベントで展示



広島ピースツーリズム Instagram



令和5年8月3日投稿
695件の「いいね!」を
獲得（8月31日時点）

(1) 情報発信の強化

- ① WEBサイト等による、モデルルート、スポット等の情報発信
- ② **G7広島サミットを契機とした新たな取組（P10）**
 - ・ モニターツアーの実施及び情報発信
 - ・ PR動画の作成

(2) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組 体験型周遊イベント等の実施（P11）

- ・ 周遊イベント等を通して平和の思いを共有
- ・ 各種団体等のネットワーク構築

(1) 情報発信の強化

G 7 広島サミットを契機とした新たな取組

令和5年9月～開催予定

G 7 広島サミットの開催を契機として、広島や平和への関心が高まっている中で、①インフルエンサーや記者等が市内の平和関連施設等を巡るモニターツアーの実施及び情報発信、②市内の平和関連施設等を題材としたピースツーリズムPR動画の作成に取り組むことにより、ピースツーリズムの認知度向上と平和関連施設等への周遊促進を図る。

①モニターツアーの実施及び情報発信

- インフルエンサーやメディアの記者等を招聘し、G 7 広島サミットで各国首脳や配偶者が訪れた施設を含む市内の平和関連施設等を巡るモニターツアーを実施する。モニターツアー実施後は、インフルエンサーや記者等が持つ各媒体で平和関連施設等の魅力を情報発信する。

②PR動画の作成

- G 7 広島サミットで各国首脳や配偶者が訪れた施設を含む市内の平和関連施設等を題材としたピースツーリズムPR動画を作成する。



(2) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

ピースツーリズム体験型周遊イベント等：ピースパズル

令和5年11月開催予定

昨年に引き続き、市内の平和関連施設等を巡り平和を考える体験型周遊イベント等を開催し、ピースツーリズムの情報発信の強化を図るとともに、参加者自らが平和とは何かを考え、平和への思いを共有できる環境づくりを行う。

体験型周遊イベント等は、平和をテーマとして活動している各種団体等と積極的に連携し、来訪者に満足度の高い周遊コンテンツを提供するとともに、同取組を契機に、各種団体等のネットワーク構築が促進され、来訪者と市民が平和への思いを共有するピースツーリズムの機運が高まることを目指す。

ピースパズル：平和学習デジタルスタンプラリーを活用した体験型周遊イベント

- 開催期間：令和5年11月（平和文化月間）
- 開催場所：広島平和記念公園、広島市内の平和関連施設等
- ターゲット層：10代～20代、平和学習に関心がある若い世代



(左：ピースパズルの
イメージ画像)

質疑応答

3 その他平和に関わる本市の事業について の情報共有

令和4年度第2回ピースツーリズム推進懇談会での意見

項目	意見	取組（予定）
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテスト等を通じたピースツーリズムの認知度を向上する取組の継続 ・メディアに対するアプローチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテストや体験型周遊イベント等を開催。 ・メディア等を招いたモニターツアーを実施。
コンテンツの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・被爆建物等の保存過程を情報提供 ・映画等の口ケ地巡礼ルートを紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・被爆建物等の保存過程をストーリーとして、HP等に掲載。 ・テーマ別のルートをHP等で紹介。
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設の設置 ・悪天候時に休める空間等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型周遊イベント等を通して、来訪者との接点の場の創設を図る。 ・修学旅行生等が悪天候時に使用できる施設や休憩場所の拡充を図る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問者へのアンケートの実施 ・被爆樹木の保存と（二世の）植樹 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者を通じたヒアリングを実施し、訪問者の嗜好やニーズを調査。 ・被爆樹木二世の植樹に関する情報提供及び関係部署との連携。